

# 令和4年度環四国サイクリングプロジェクト（香川うどん・小豆島編）活動報告

（令和4年度愛媛大学国際連携 学生海外短期派遣・受入プログラム支援事業申請事業、愛媛県後援事業）

## 【事業概要・目的】

日本と台湾の学生が共に「自転車」というコンテンツを用いて地域の歴史・文化等に触れるフィールドワークを行い、日台間の異同等に目を向けつつ、実社会において有用となるグローバルな感覚や、協働を促進するコミュニケーション・リーダーシップのあり方について実践的に学ぶこと目的とした事業。また、産学官連携事業として、愛媛県が推進する「自転車新文化」を両国の学生たちが広く発信することも目的の一つとしている。今年で5年目を迎える。今年、コロナ禍を経て2年ぶりの対面での実施となります。プログラムは、オンラインによる事前の国際交流を2回程度実施した後、COVID-19 拡大防止策を徹底し、「香川うどん・小豆島編」としてリアルな国際交流と、地域の歴史・文化に直接触れるとともに、SDGs の活動を通じて地域への貢献を目指した活動内容にしており、両国学生間の国を超えた「深いつながり」を築く機会とする。

## 【日時・方法】

（第一回）令和4年7月8日（金）方法：オンライン（ZOOM 接続による同期型）／自宅等からの接続

（第二回）令和4年7月22日（金）方法：オンライン（ZOOM 接続による同期型）／自宅等からの接続

（第三回）令和4年8月6日（土）～10日（水）場所：香川県高松市・丸亀市・仲多度郡琴平町・小豆島町

※安全対策として、健康状況の確認（健康チェック票の記録と確認、当日の体温測定）、手指消毒の徹底、自転車走行時以外のマスク常時着用、飲食時の黙食、マイクロバス移動時の二酸化炭素濃度による2か所以上の換気の徹底など感染予防策を実施。

## 【実施体制】

主催：愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室、国立高雄科技大学（台湾・国）

後援：愛媛県

協力：一般社団法人しまなみジャパン、（株）Kai Works、ジャイアントストア高松・松山、JR 四国ホテルクレメント高松、OHKIDO HOTEL

学生リーダー：一ノ瀬明澄（社会共創学部2年）、矢野嵐（社会共創学部3年）

サブリーダー：門脇隼斗（社会共創学部3年）、森山真菜（社会共創学部3年）、濟木あかね（法文学部2年）

実施責任担当教員：仲道雅輝（愛媛大学教育企画室 副室長 准教授）、村田晋也（同 講師）、許宏徳（国立高雄科技大学准教授、愛媛大学客員教授）

## 【参加者数】

合計：31名（学生25名）

愛媛大学生：20名（法文8名、社共6名、工学2名、理学1名、農学2名、連合農学研究科1名）

国立高雄科技大学学生：5名

教職員関係者：6名（愛媛大学3名、国立高雄科技大学1名、しまなみジャパン1名、Kai Works1名）

## 【学習成果】

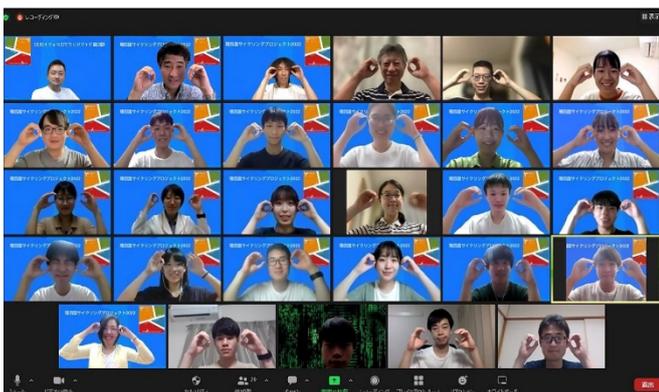
愛媛大学と国立高雄科技大学（台湾）の学生が、愛媛県等に後援・協力いただいている「環四国サイクリングプロジェクト」オンライン&香川うどん・小豆島編として、2年ぶりに対面による開催となった。今年、事前に、オンラインでの交流を2回行い、日台混合チームでの自己紹介や両国の文化を紹介し合うとともに、サイクリングで走行するルートの検討を行うなど、対面での交流をさらに深く交流することをねらって、二段階での構成とした。今回も、昨年度実施したオンラインでの交流の利点を生かし、台湾学生とのつながりを強めたいという思いから、2か月間をかけて、参加者も企画の段階から主体的に参画する運営方法とした。

対面での香川うどん・小豆島サイクリングでは、参加者が日台混合4チーム（6~7名/チーム）に分かれ、小豆島島内（中山千枚田、二十四の瞳映画村、オリーブ公園、オリーブビーチ、エンジェルロード、寒霞溪など）を自転車で走り、総走行距離

80km を一人も脱落することなく完走証書が授与された。環四国サイクリングプロジェクトでは、これまでサイクリングで訪問することで得た恩恵を地域にお返すという気持ちで、今回初めてビーチクリーンをはじめとするクリーン活動を実施した。コース途中では、休憩時に道に落ちているごみを拾い、コースに含まれるオリブビーチとエンジェルロードでは、全チームが協力してビーチクリーンを実施した。この取り組みでは、海でつながる日台両国の学生が協力し、SDGs の GOAL11（住み続けられるまちづくりを）、14（海の豊かさを守ろう）、15（陸の豊かさを守ろう）の達成に貢献することを目指した。

成果発表会・閉講式では、プロジェクトに参加して得られたそれぞれの成果として、「サイクリングで一気にチームの団結力が深まり、暑くても辛くても励まし合って頑張ったことが強く印象に残っている」、「自分から話しかけるのには勇気があるが、話しかけると自分が思っていたよりもハードルが低かったことに気づき、自分からコミュニケーションを取りに行けるようになった。」、「日台の新技術の開発や成長に触れ、より国際的な技術者や研究者になりたいと思いました。」、「これからも愛媛大学や色々な日台交流の活動に参加して、いつか日本と台湾の架け橋になれるように頑張ります。」などの感想や抱負が発表された。参加者は、あらためて、対面で経験を共にすることの楽しさや意義を感じた様子であった。また、終了後も、台湾国立高雄科技大学学生らと、SNS 上で写真のやり取りを行うなどの継続した交流が行われ、来年の夏には、徳島・鳴門・祖谷・阿波踊りサイクリングプロジェクト（仮）で会うことを約束し散会した。

本プロジェクトは、愛媛県が推進する「自転車新文化」を広く発信することも目的の一つとしており、参加学生からは、地域の歴史等への関心が高まり、サイクリングを通しての自転車新文化の裾野の広がりを感じる機会にもなったなどの意見があった。今回の開催は、学外への広報として愛媛県内に加えて、香川県内でもプレスリリースの発行を行い、愛媛大学生のアクティブな活動を地域に知っていただける機会ともなった。



オンライン国際交流（1回目）の集合写真



エンジェルロード サイクリング集合写真



スタート前の安全講習の様子



小豆島内サイクリングの様子



サイクリング前の円陣での決起



ビーチクリーン活動の様子



各チームからの成果発表の様子



成果発表後の集合写真

**PRESS RELEASE**

愛媛大学  
EHIYAMA UNIVERSITY

令和4年7月22日  
愛媛大学

**環四国サイクリングプロジェクト X SDGs ビーチクリーン アクション**  
国際交流企画(香川 うどん・小豆島編)

愛媛大学 & 国立高尾科技大学

本企画は、愛媛大学の学生が、愛媛県等に連携・協力いただいている「環四国サイクリングプロジェクト」の一環で、台湾 国立高尾科技大学の学生と、サイクリングを通じた国際交流企画を行い、互いの歴史や文化の理解を深める企画となっています。また今年、初の試みとして、四国初「サイクリング X SDGs ビーチクリーン アクション」を小豆島で開催します。

環四国サイクリングプロジェクトは、「自転車」というコンテンツを用いて、グローバルな感覚やコミュニケーション・リーダーシップのあり方について実践的に学ぶことを目的としており、4年間かけて「四国一周」を達成するものです。今年も、コロナ禍を経て2年ぶりの開催となります。プログラムは、オンラインによる事前の国際交流を2回程度実施した後、COVID-19 拡大防止策を徹底し、「香川うどん・小豆島編」としてリアルな国際交流と、地域の歴史・文化に密着するとともに、SDGsの活動を通じて地域への貢献を目指した活動内容にしています。プロジェクトへの参加を通じて、海でつながる四国の学生間に、国を超えた「深いつながり」を築きます。

つきましては、ぜひ取材くださいませようお願いたします。

【日 時】令和4年8月6日(土)～10日(月)  
【場 所】香川県高松市・金沢岡山、小豆島  
【参加者】愛媛大学生 21名  
国立高尾科技大学学生 5名  
他、高松市教職員、愛媛県自転車文化推進委員、一般社団法人しまなみジャパン、Kai Works など

【内 容】別紙参照  
主催：愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室、国立高尾科技大学(台湾)  
後援：愛媛県  
運営協力：ジャイアントストア高松・松山、JRI 西国クレメントホテル高松、一般社団法人しまなみジャパン、Kai Works 株式会社

■取材いただける場合は、7月29日(金)までに下記問合せ先へメールにてご連絡ください。  
■お車でお越しの際は、正門側警備員室でお手紙の上、乗客用駐車場をご利用ください。

参加する学生が、インタビューにお答えいたします。

本件に関する問い合わせ先  
愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室  
副室長・室長 仲道 智博  
TEL: 090-8543-6078  
Mail: nakamichi.masaki@ehime-u.ac.jp

※送付資料4枚。(本紙を含む)

学生中心の大学 地域とともに関わる大学 個性和つながる大学

プレスリリース1

愛媛大学 (EIS) X 国立高尾科技大学

つながる「物」、感じる「心」、つなげる「魂」  
**環四国**  
プロジェクト  
香川うどん・小豆島編

自転車を通じてつながる、海をこえた青春プログラム  
今年も動き始める!

▶ とき 2022年 8月6日～10日 (4泊5日)  
▶ ところ 香川県内(小豆島を含む) (集合場所: 愛媛大学)

AM 1日目 アリソン・アムステルダム → 2日目 うどん作り体験 金沢岡山 宿泊 → 3日目 小豆島 サイクリング アクティビティ → 4日目 小豆島 サイクリング アクティビティ → 5日目 成果発表

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

Beach Clean Action!

オリジナルサイクリングジャージを作成します。  
※申請書に添付されています。  
※サイズ等は実施要領を参照してください。

対象者：国立高尾科技大学学生・高尾人学生  
参加費：50,000円  
定員：愛媛大学生20名、国立高尾科技大学学生20名  
※定員になり次第募集を終了させていただきます。  
注) COVID-19感染状況により、延期・変更する場合があります。

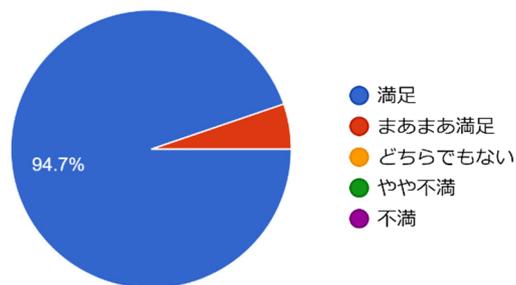
オリジナルサイクリングジャージ

プレスリリース (フライヤー)

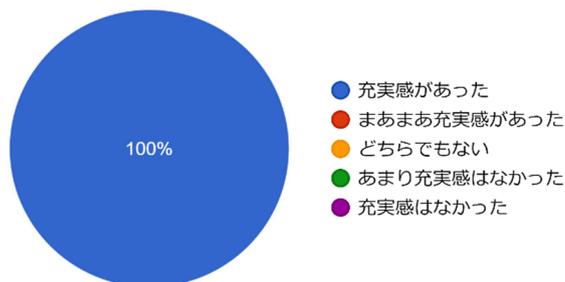
## アンケート結果

参加者 25 名 (回答数 19 回収率 76.0%)

### 1. 満足度 (n:19)



### 2. 充実感 (n:19)



### 3. プロジェクトに関して、意見や感想 (自由記述：抜粋)

1	日台交流で自分の日本語能力を高めて、人間の繋がりができるようになった
2	緊張せずにみんなと喋れるようになったこと。大学時代で、みんなの前で発表したときに、頭の中が真っ白になってしまって、結局何も言わなかった経験がありました。今回の環四国サイクリングを通して、自分は前より緊張せずにしゃべれたことに気づき、成長したのかなと感じました。
3	自分も学校でスタッフとして国際交流会を参加しました、でもやっぱり台湾のやり方は全然愛媛大学のみみなさんと違います。愛媛大学のコアメンバーのみみなさんは本当にとっても魅力的なリーダーです、私はめっちゃ憧れています。自分もどんなリーダーが魅力的か考えたことがあります。今回本当に理想的なリーダーを見ました。ありがとうございます。今度みんなのやり方を勉強して成長して、みんなのようなリーダーになります。
4	周りの参加者を見て影響され、挑戦することへの積極性が増した。
5	サイクリングを通して、チームで励まし合って頑張ることへの喜びを実感する事ができた。
6	卒業論文の題材に小豆島の農作物の生産環境が面白そうだった
7	地域で行われているサイクリング活動やクリーン活動があれば参加してみたいと思った。
8	恐れずにみんなの前で日本語を喋れるようになったような気がする
9	1人ではなく、みんなで協力して、目標を達成できたり、自分たちで綺麗にすることで気持ちの良い場所になったりしたのが、嬉しいと感じた。
10	このプロジェクトのメインテーマであるサイクリングを、暑い中でしたが、無理なく楽しめた。また、最終日の成果発表にて、参加者全員が楽しめたことや頑張ったことを聞くことができ、それがとても嬉しかった。
11	かけ声を出したり、困難を乗り越えたりする中で、チームの一体感が生まれた
12	日本の道路や交通法は台湾に比べて自転車の走り方が曖昧なことや、台湾と日本の公共安全について差があることがわかった。
13	成果発表が特に印象に残っています。前の日の夜にみんなで模造紙にまとめたり、うちわを作っている中で、4日間の思い出を振り返る事ができました。とてもいい締めくくりだったと思います。
14	競技性を入れてみると面白いかもしれない。
15	もう少し長期間サイクリングプロジェクトに参加したい